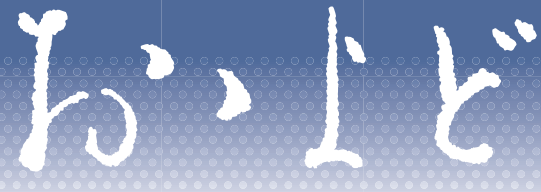


2013 1月 OIT Website  
<http://www.oit.ac.jp>

記事 Pick Up

- 2012年度城北祭・北山祭報告 ②③
- 人工衛星プロジェクトの近況 ④
- 情報科学部「つくばチャレンジ2012」に出場! ⑤
- LLCでハロウィンパーティーを実施! ⑥
- 本学学生のフットサル留学体験報告 ⑦
- 各キャンパスで防災訓練などを実施 ⑧



ひとことメッセージ

自信のある人生ほど楽しいものはない。自信は実力から湧き出る。実力を付けるには基礎力が必要だ。年頭にあたり教員は学生諸君に溢れんばかりの基礎力を授けることを誓う。




情報科学部 コンピュータ科学科 教授  
 岩出 秀平(専攻:プロセッサ・ハードウェア)

# 大学のコミュニケーションマークができました

## 大阪工業大学の新たなコミュニケーションマークを制定

### コミュニケーションマーク

このコミュニケーションマーク  は、色鮮やかなシアンで工業大学の「工」を表現し、正方形を取り巻く空間が社会を、正方形がテクノロジー分野を表しています。そしてその中に夢をカタチにする専門職業人を育成するOITをかたどり、社会との一体感を表現しています。

大阪の地で長きにわたって、社会の各分野で活躍する有為な人材育成に努めてきた歴史や伝統と、社会に絶えず発信していく「力強さ」「先進性」を感じさせます。

### タグライン

タグライン「みらいをつくる つたえる まもる。」は、多くの専門職業人を世に送り出し、新しいライフスタイルを技術面から支え「夢をカタチに」することができる「人」を育ててきた本学の新たな大学像を「つくる=工学部」「つたえる=情報科学部」「まもる=知的財産学部」とかけて、シンプルかつダイレクトに表現しています。

### コミュニケーションマークのカラー

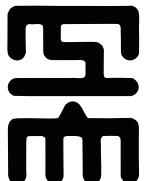
コミュニケーションマークのカラー(シアン)には、水の青をセレクトし、淀川から世界へ…川の流れから世界の海原へというグローバルな発想とともに「人にも地球にもやさしい」姿を表しています。シアンは、工業の発展には欠かせなかった青写真や印刷技術における色料の3原色の青でもあり、青写真という日本語には、将来設計という意味もあり、本学の未来の活躍を願うカラーです。

### コミュニケーションマークと校章の関係

両方とも本学を表すマークとして使用されているものですが、コミュニケーションマークは、主に広報的役割を持つあらゆる情報発信媒体(名刺、封筒、レポート用紙、HP、看板類、パンフレット類など)で本学のシンボルとして使用されます。校章は、歴史や伝統を反映したオフィシャル性を示すシンボルとして、本学が情報発信主体であることを公式に示す媒体(学位記、学生証等、諸証明書、公式文書類など)に用途を限定して使用されます。



コミュニケーションマーク



校章

# 城北祭

大宮  
キャンパス

## SHIROKITA FESTIVAL

10.26(金) 27(土) 28(日)

### 城北祭2012写真集

今年度の第64回城北祭では、14,170名という過去最多の来場者数となりました。ご来場いただきました皆さま方、本当にありがとうございました。



さて、今回は「虹のパズル」というテーマの下、1年間企画・運営を行ってきました。このテーマには、城北祭にかかわるたくさんの人々がひとつになって、大きな虹をかけ、見る人をHAPPYにしたいという意味が込められており、期間中には大人から子供までたくさんの人が集まり、城北祭を完成することができました。無事に開催できたのも、ご指導いただいた教職員の方々、他団体、各クラブの皆さま、なにより城北祭実行委員会のメンバー、その他多くの皆さまのおかげです。ありがとうございました。

来年度は、さらに盛大な城北祭になるよう努力していきますので、来年度の城北祭をよろしく願っています。

第64代城北祭実行委員会 委員長 佐藤雄三(K3)

#### ステージイベント

前日のオープニングパレードから閉祭式表彰まで、さまざまなイベントが行われました。



超満員！  
吉本お笑いライブでの観覧者

#### 教室展示・模擬店

開催期間中はたくさんの来場者があり、キャンパス内はとて賑わいを見せました。



フットサル部の  
ヨーヨーつり

茶道部の  
お茶のもてなし

パティ学生もサポート  
インドネシアの緑豆スープ



留学生友好会の水餃子  
味に自信あり



ストリートダンス部のダンス公演



オープニングパレード  
参加者でパチリ



閉祭式での  
表彰授与の様子

他大学も参加し腕を競う  
恒例のロボットバトル

#### 7号館ピロティ などでのイベント

ロボットバトルや抽選企画などステージ以外でも盛り上がりました。



ここに掲載しているほかにもたくさんの教室展示や模擬店、お化け屋敷、フリーマーケット、お子様企画などなど、掲載しきれないイベントがたくさんありました。模擬店はクラブ活動していない一般学生でも友達を集めて参加できますので、今回城北祭を満喫できなかった学生諸君、来年はぜひ訪れて自分の目で確かめてください！

## 「みずウォーク2012 水都大阪大会」も同時開催

城北祭期間中の10月27日には「みずウォーク2012水都大阪大会」(読売新聞社主催)が開催され、秋晴れのもと、約1,200人の参加者がありました。本学も協賛のイベントで、20km折り返し兼10kmゴール地点を10号館前に設置していることから、当日は城北祭にもたくさんの参加者が来場して皆さんステージイベントや模擬店を楽しんでいました。



10号館前ブースでの様子

河川敷グラウンドでの  
ソフトボール大会



豪華賞品プレゼント！  
BINGOフェスタ



### 2012年度城北祭 教室展示等各賞審査結果

#### 学術研究部門

学長賞	応用化学研究部
工学部長賞	土木文化研究部
知的財産学部長賞	建築文化研究部
後援会会長賞	空間デザイン研究部

#### 芸術系部門

学長賞	鉄道研究部
学生部長賞	茶道部
文化会会長賞	美術部 赤塔 巧(E3)
後援会会長賞	美術部 森 満(W1)

#### 体育会行事部門

球技大会優勝	チームQPH
球技大会準優勝	チームあーXALAXY
球技大会第3位	チーム烏龍茶
相撲大会重量の部優勝	大野 泰啓(W3)

相撲大会重量の部準優勝	北脇 拓朗(C2)
相撲大会重量の部第3位	大山 翼(M3)
相撲大会軽量の部優勝	藤田 尚毅(K3)
相撲大会軽量の部準優勝	三原 大輝(D4)
相撲大会軽量の部第3位	細田 裕輔(C2)

#### 模擬店部門

城北祭実行委員長賞	粉もんについて本気出して考えてみたチーム(キャベツ焼)
-----------	-----------------------------



# 北山祭

枚方  
キャンパス

## KITAYAMA FESTIVAL 11.3 土祝

11月3日に開催した第16回北山祭に8,500人の方々にご来場いただき、大成功という形で終えることができました。誠にありがとうございました。

“多くの方々と共に協力して一つのものを作り上げよう”という意味で「共創」をテーマとして実施したイベントの「大きな寄せ書き」では、たくさんの方から心温まるメッセージをいただき、立派な作品を完成することができました。

また、ステージイベント新企画の大宮キャンパス応援団の演武や「吉本お笑いライブ」も大盛況でした。

来年度の北山祭もさらに盛り上げていきますので、ぜひご来場ください。

北山祭実行委員会 委員長 増本亮裕(IC2)



### 充実のステージイベント

今回のステージイベントは、大きく飛躍した充実のステージでした。まず第1に、ステージの場所を変更して学生駐車場(2号館東側)に特設ステージを設置し、より多くの来場者に観覧していただくことができました。次に新たな企画として、大宮校地の応援団による演武をはじめ、ジャグリングサークル、情報科学部吹奏楽団の演奏、吉本お笑いライブ(出演:ジャルジャル、椿鬼奴、GAG少年楽団)のパフォーマンス等々の新しい企画で大いに盛り上がりました。模擬店コーナーではどの模擬店にも行列ができるほど大繁盛していました。

また、屋内の文化系サークルの展示等では、真剣な眼差しで鑑賞する来場者にサークルのメンバーが熱心に説明していました。



### 北山祭2012写真集

暖かいメッセージと「共創」で完成した作品



大繁盛の模擬店



大反響のステージイベント



応援団の演舞



いつもにぎわっていたフリーマーケット



情報科学部吹奏楽団はエンターテインメント集団!



ちびっこを夢中にさせたOh! ITカーニバル



有志によるステージイベント



ステージイベントの様子



拍手喝采のジャグリングサークル



行列のできる模擬店



お父さんも夢になったOh! ITカーニバル



### 大盛況、Oh! ITカーニバル

過去最大級規模の42研究室等がブース発表したOh! ITカーニバルは、今回も多くの来場者を迎えて大盛況でした。学生が日頃の情報科学部の研究・活動を余すことなく、来場者に熱く伝える姿が見られました。

また、教員や後援会役員、ひらかた地域産業クラスター研究会の審議を経て、優秀な研究発表を行った研究室は閉祭式で表彰されました。受賞した研究室はつぎのとおりです。

### 2012年度Oh!ITカーニバル研究発表審査結果

学 長 賞	サービスコンピューティング研究室(須永教授)
学 部 長 賞	計測およびシミュレーション物理研究室(藤井教授)
後 援 会 会 長 賞	社会基礎情報システム研究室(中尾教授)
イノベーション大賞	図形情報研究室(小堀教授)

## 人工衛星プロジェクトの近況報告

9月9日午後、地球の周回軌道(極軌道)に乗ったPROITERES衛星ですが、同日22:48、工大地上局でモルス信号の受信に成功し、衛星が正常に動作していることを確認しました。しかし、9月14日から通信が途絶してしまいました。大変やきもきしましたが、9月21日には再度、通信が復活してくれました。ただ、モルス信号の周期が大変早く、信号内容も乱れています。衛星にリセット信号を打ち込みたいのですが、周期の早いモルス信号を発信している衛星にリセット信号を伝えるには、少し高度なテクニックが必要で、現在、地上局の送信機を連続的なドップラーシフトに対応できるものへ切り替えをおこなっているところです。また衛星局および地上局に対して11月16日に近畿総合通信局より正式に免許が交付されました。これで一人前の通信体制が整ったこととなります。これからも精力的に衛星との通信活動を続けていきます。



免許状を手にするプロジェクトメンバーの学生(人工衛星管制室より)



## 工学実感フェア2012を開催

城北祭期間中の10月27日、28日の2日間、大宮キャンパスでは「チャレンジ、日本。～夢をかなえるひとに～」をテーマに工学実感フェア2012を開催しました。工学部学生・教員による約70の体験等のプログラム出展のほか、ミニソーラーカー、電動四輪バギー、ミニSL蒸気機関車、新世代ガソリンディーゼルエンジン搭載「CX-5」の試乗体験を実施しました。「日本のものづくり力」をコンセプトに展開された今回のイベントでは、「IOIT NOW」をはじめ、ものづくりに関わる最新の技術に触れる講演<テクノ・フォーラム>を催しました。学生チャレンジプロジェクトゾーンや学術研究ゾーンの活動報告には多くの来場者が訪れ、「自動車周りの流れを見てみよう」「アルミや銅でつくるペンダント」などの各出展プログラムも人気がありました。小・中学生やその保護者などを対象に“理科好き”“工作好き”の子どもたちを育てようと昨年度に続き実施された工学実感フェア。科学の面白さや工学の豊かさを実感した参加者からは喜びの声が寄せられました。



ペットボトルで風車を作って発電しよう

## ～みんなで淀川を守ろう！～ 淀川クリーンキャンペーン実施

“淀川学”の取り組みの一環として10月20日、「淀川クリーンキャンペーン」が開催されました。今回で7年目を迎えるこの行事は、旭区役所等の行政・地域団体の協力により、大学と地域連携の環境保護清掃活動として毎年開催されるもので、当日は総勢800人の旭区住民と大工大生が集まりました。参加者は、地域の憩いの場である城北公園を拠点に、赤川鉄橋・本学河川敷グラウンド間を約1時間の清掃を行い、一般ゴミのほか自転車など、4トントラックが一杯になるほどのゴミを集めました。

また当日は、淀川水系に生息する国の天然記念物に指定されているイタセンパラの展示や、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク主催による「外来魚駆除釣り大会」が同時開催され、約400人が外来種の代表とも言えるブルーギルやブラックバスなどを釣り上げるなど、参加者は環境を守ることの大切さや生物多様性に対する関心を高める機会となりました。



たくさんの方に参加いただきました

## 留学生が日本の小学生と交流

本学の外国人留学生が活動する留学生友好会が10月25日、地元旭区の大阪市立大宮西小学校の1年生と5年生の児童たちと交流しました。この行事は児童たちの国際感覚を養いたいという同小学校の申し出に本学が協力して毎年実施しているものです。

参加した留学生は、中国・サウジアラビア・モンゴル・インドネシア・タイ出身の5人の学生で、1年生の児童とは歌にあわせて遊ぶことを中心に、5年生の児童には留学生の出身国別のグループに分かれて、母国での挨拶や生活スタイルなどの児童からの質問に答えました。緊張気味でおとなしかった小学生たちも時間が経つとともに緊張もほぐれ、打ち解けた表情に変わっていました。本学の留学生にとっても地元の児童たちと交流を深める良い機会となりました。



児童たちと一緒に楽しく遊びました



熱心な児童たちの質問に答える留学生



## 「つくばチャレンジ2012」に 情報科学部の学生が出場

11月10日～11日、茨城県つくば市で開催された「つくばチャレンジ2012」に情報科学部の学生8名が出場しました。同大会は2007年からスタートし、人とロボットが共生する社会を目指して、人にやさしい次世代ロボット技術産業の育成に取り組む同市とつくばチャレンジ実行委員会が主催し、大学や企業研究所など36チームが参加しました。走行コースは自ら考えて動く自律型ロボットが、人々が生活する街の中で安全かつ確実に動くことを課題とするもので、つくば市内の駅周辺や人通りの多い公園内の遊歩道、エレベーターに乗りショッピングモールを通過するルートなど約1.4kmが設定されました。本学は学科横断型の合同チームを結成し、昨年度と同型のロボット「プロキオン」(ロボット筐体部については企業の協力を得て制作)で挑みました。プロキオンは対象物までの距離をレーザーの光で計測するレーザーレンジファインダーと既存の地図情報を利用して位置確認するGPS機能を装備しているので自分の位置を推定することができます。スピードよりも再現性や確実な動きが求められる本大会で、過去2回コースアウトした場所を順調にクリアし前回の成績を大きく上回る441mを達成しました。競技への参加を続けることでソフトウェアの信頼性を向上させたプロキオンの更なる走行距離への記録が期待されます。



出場した学生チームと指導教員

## 知的財産学部・大学院 合同企業懇談会の開催について

「知的財産学部・大学院 合同企業懇談会」が11月28日に大阪センターで開催され、20社を超える企業等の皆さんにご参加いただきました。

このイベントは本学部・大学院の卒業(修了)生を多数採用いただいている企業やインターンシップ受入でお世話になっている企業・特許事務所などの関係者をお招きし、本学の学生教育の紹介、内容をご理解いただき、採用活動に役立てていただくことを第一の目的としています。また、これから就職活動を行う学部3年次生、大学院1年次生諸君が参加企業の皆さんと接触し、実社会で働くための教養を請う場としても大いに役立つものと期待しています。

本会の運営にはボランティアとして学生たちも多数参加しており、会場設営、受付、司会進行などが行われました。

第1部では学生による学生生活のプレゼンテーションを実施し、ゼミ報告、インターンシップ報告、活動報告、ワシントン大学研修報告などバラエティに富んだ発表でした。

第2部では参加企業の方々と懇親会を実施し、学生から就職活動や会社・仕事について積極的に話しかけていました。これから本番を迎える就職活動に向け良い経験となったことでしょう。



プレゼンテーションでの活動報告の様子

## 情報科学部特別講演会と学生プロジェクト研究発表について

11月21日、枚方キャンパスにおいて情報科学部客員教授でグーグル(株)元代表取締役社長兼米国本社副社長の村上憲郎氏を講師に迎え、「今、君が身につけるべきスキル」と題した特別講演会を開催し、学生や教職員など約230人が聴講しました。

グーグル在職時代の活動事例や自身の海外赴任の経験談などをもとに外資系企業と日系企業の違いなどにも触れ、仕事とは何か、働くとはどういうことかを説かれ、今、学生が身につけるべきスキルについて語られました。これから社会に出て仕事をしていくうえで、向き不向き、好き嫌いにこだわらず自分に何が出来るかを常に自己点検し、「出来ること」を養成することが大切だと述べられました。他者との競争力につながる「出来ること」の中でこれから重要視されるのは英語運用能力だと力説され、近い将来世界の人と競争する時代に備え、1日3時間、3年間、倒れるくらい英語で学問をやり直す心構えで必死に勉強し、将来チャンスをつかんでほしいと学生にエールを送られました。

講演に引き続き、スマートフォン用生活習慣改善アプリを開発した学生プロジェクトの2チームが研究発表を行い、世界に発信できる新世代の情報デザインについて同氏とディスカッションを行いました。

最初は「すててこ」と題したアプリのチームから発表があり、物を片付けられない人、捨てられない人のために、持ち物の情報をアプリに登録することでフリーマーケットの出店情報やゴミ出しの日の情報などが提供されるアプリを開発、物を捨てることへの抵抗感を徐々になくし、不必要な物への判断力がつく効果が見込まれると説明がありました。

次に「The カーチャ」と題したアプリのチームは「起きや!朝やで!」と母親の声で起床時刻に起こしてくれる目覚まし機能があり、蓄積データ

の平均値をもとに毎日決まった時間に起きることで生活習慣を改善することを目的とし、一人暮らしをしている若者が離れた母親とコミュニケーションを取りながら生活習慣を楽しく改善できるとのコンセプトで開発したと説明がありました。

事例発表後、村上氏から「アプリを利用する利得は何かを考え『ビジネス(収益)モデル』として確立することが重要です。また他人に自分のアイデアを納得してもらうためにはプレゼンが極めて重要で、相手に伝わる手法を磨いてほしい」との貴重なご意見をいただきました。

その後の質疑応答では、学生から村上氏へ「プレゼン時に心掛けていること」「起業にあたって大事なこと」「アイデアを出すにはどのようにすればいいか」など積極的な質問が飛び交い、大変有意義な講演会となりました。



多くの学生や教職員が聴講しました

## Language Learning Center(LLC) ハロウィンパーティー

10月31日、LLCでハロウィンパーティーが開催されました。LLCは国際色豊かでフレンドリーなスタッフが学生の皆さんの英語学習をサポートする施設で、4月に大宮キャンパスに完成しました。

今回は「ハロウィンという異文化を体験してほしい」「より多くの学生にLLCを知ってもらいたい」という思いからパーティーを開催。当日は「初めてLLCに来ました」という学生が多く訪れ、参加者数は130人を超えました。

最初のプログラムはコスチューム(仮装)コンテスト。「かおなし」に扮した西村知浩君(A3)が英語を交えてMCをつとめました。宇宙人や魔女など様々なコスチュームの学生が参加した中、優勝したのは「MOVIE MAN」。手作りコスチュームであまりの面白さに会場全体が笑いに包まれました。

次のプログラムはラッフルゲーム(抽選会)。MCは『スケルトン』に扮したムーア・アシュリー先生がつとめ、参加者全員が楽しみました。

パーティーはフリーフード、フリードリンクで、参加者はホットドックを片手にスタッフや学生同士で会話を楽しみました。

今後もLLCではいろいろなイベントを企画しています。気軽に訪れてください。



仮装コンテスト優勝者の「MOVIE MAN」(左)

## 大阪工業大学・川上村環境教育 セミナーハウス「源流分校」が 利用できるようになりました

本学と連携協定を締結している奈良県川上村で、工学部建築学科と空間デザイン学科、大学院の学生たちが手がけた廃校リノベーションプロジェクトが予定の改修を終えました。これを受けて、このたび施設の愛称が「源流分校」に決まり、本学学生のゼミ、クラブ・サークルの合宿などに無料利用できるよう準備が整いました。

源流分校には川上村産杉材をふんだんに使ったセミナー室6室と、シャワー、風呂、洗濯機を完備し、最大60人の宿泊が可能です。食事の面では、簡単な自炊ができるような調理器具を備えているほか、校庭でBBQを楽しんだり、村内の飲食店からの弁当デリバリーも利用できます。また、合宿の合間には併設の体育館でちょっとしたスポーツも楽しめ、さらに村内のスポーツ施設(有料)には照明付サッカーグラウンドやテニスコートもあります。

源流分校の利用予約は、フリーラック、学部事務室、学生課にあるチラシを参照のうえ、川上村役場に直接申し込んでください。



①セミナー室(1)  
②セミナー室(2)  
③源流分校の外観



## 震災ボランティア活動の写真展・発表会を実施しました！

12月6日、大宮キャンパス1号館エントランスホールで、学生の震災ボランティア活動の写真展・発表会が行われました。これは2011年3月に発生した東日本大震災で甚大な被害のあった南相馬市(福島県)に昨年の夏休みにボランティア活動へ行った藤原圭祐君(V3)の申し出に応じて、本学ボランティアサークルの「ボランティア・Link」のメンバーが協賛して実現した企画です。当日は、現地で撮った震災の爪あとが残る風景写真やイベントを明るく楽しんでいる子供たちの笑顔の写真がたくさん展示されました。また、映像も投影され、現地での活動内容やボランティアの大切さについて、藤原君から発表もありました。参加した学生は彼の発表に思い思いに耳を傾け、真剣に聞いていました。

人と人とのつながりの大切さや個人でもできることはたくさんあることを教えてもらった1日でした。



発表会の様子

多くの学生が立ち止って見ていました

### カウンセラーのひとり言 新しい「完璧」を目指してみませんか？

カウンセラー 大谷 真弓

「完璧主義なので疲れてしまう」という悩みをよく聞きます。みなさんは、「完璧」とはどのような状態だと考えていますか？

人には感情の波があり、うれしい、楽しい等のプラスの感情だけでなく、悲しい、寂しい、苦しい等のマイナスの感情も時に生じます。また、物事がいつもうまくいくわけではなく、失敗したりトラブルが起きたりする場合も必ず出てきます。おそらく、「完璧」を目指す人は、プラス

面に関することのみが起こることを願っているんだと思います。でも、私たちに起こる出来事には、マイナスの感情や、失敗・トラブルも含まれているのが実は「当たり前」なんですよ。「悲しかった」「つらかった」という体験も、無駄だったり邪魔だったりするものではなく、実は私たちの人生をより重層的で豊かにしてくれる、かけがえのない体験です。それらも含めてこそ、人の生は「完璧」なものになるんですよ。

### 心理学アラカルト ほめ上手になろう!!

カウンセラー 広部 博美

人はみんな、ほめられたり認められたりするとうれしいものです。うれしいと心が膨らんでいきます。この「心が膨らむ」ということは、精神衛生上とても大切です。心が膨らむと、心のエネルギーが増していきます。そうすると、自分に自信がもてたり、自分の中のよいところを探すことが上手になる気がします。でも、「できないこと」「足りないこと」を指摘されてばかりいると、心は膨らまずに縮んでしまいます。そして、

自分の中のよいところを探すことが下手になってしまいます。このように「ほめられる」という体験は、とても大切なものです。人から伝えられる、そして人に伝えることも同じです。人のよいところを見つけてほめる。そのことは、自分が自分に対してしてあげることもパラレルです。自分をほめてあげましょう！そのことが、心を膨らませて他者への関わりにも広がっていくのです。



8月19日～9月2日の期間にイタリアのフットサルリーグ(セリエC)に所属するプロチーム(Atletico Ferentino)へ約2週間のフットサル留学をした本学学生の野口大輝君(M4)の留学の様子を紹介します。

野口君は2012年3月に行われた、フットサルの留学へ行くためのセレクションを受け、猛者たちがひしめくなかで、見事審査を通過し、留学の切符を手に入れました。留学中に行われた試合での活躍が現地イタリアのネットニュースで取り上げられ「日本から来た偉大な主人公」という見出しで広く紹介されました。また、試合で結果を残した彼にチーム監督から、「大学卒業後は、ぜひ私のチームでプロ選手としてプレーしないか?」というラブコールも受けています。

野口君は「オファーを受けたことはとてもうれしいが、セリエA・Bのチームにも興味があり、今年の3月にもう1度イタリアへ行き、セリエA・Bのチームの入団セレクションを受けてから活動場所を最終決定したい。」と語っており、やる気と希望に満ちあふれた野口君の活躍を期待したいと思います。



狙うは日本代表!

## 学内献血を実施!!

体育会本部主催による学内献血が12月17日に大宮キャンパス東中庭で行なわれました。体育会本部では毎年2回学内献血を行っており、2011年には長年の功績を認められ、日本赤十字社から「献血功労団体」としての感謝状が贈られています。その励みもあり、同本部は小雨の降る中で献血の実施に熱心に活動しました。その結果、234人もの学生・教職員の方々から献血にご協力いただきました。

また、献血協力者には、日本赤十字社と大阪城東ライオンズクラブ様よりお菓子の詰め合わせと文具セットの贈呈がありました。

今後とも、引き続き献血実施の時にはご協力をお願いします。

## 祝 ソフトボール部が2部リーグ昇格!!

本学ソフトボール部が11月10日、万博記念公園で行われた京都学園大学との入れ替え戦に7-6で見事勝利し、全日本大学ソフトボール連盟の2部リーグへ昇格しました。

2回終了時点では、0-5と格上相手にリードを許しましたが、3回に3点を返し、5回には、逆転3ランホームランを含む4点追加で7-5の逆転に勝利しました。6回に京都学園にソロホームランで1点差に詰め寄せさせるも、逃げ切り勝利しました。

ソフトボール部が2部リーグへ復帰するのは2年ぶりです。キャプテンの上田健介君(A3)は「2部は確かに強いですが、私が1年生のときに2部リーグで1年間プレーしたが、強豪校がひしめく中で敗戦が続き3部へ降格となってしまいました。悔しかったですが、ただ、そこで得るものはとても多いです。僕たちの代は今年2部でプレーすることはできませんが、ぜひ後輩たちにはチーム一丸となって戦い、心身ともに大きく成長してもらいたいです。」と熱く語ってくれました。

2013年が勝負の年となりますので、皆さまの応援の程よろしくお願ひします。



勝利の記念撮影!!

## 工学部長表彰(2012年度 第1回)

工学部では、学会・課外活動で優秀な成績を収めた者および社会貢献した者に対して工学部長表彰を行っており、11月30日に以下の学生および団体を表彰しました。

工学部長表彰		工学部長表彰	
被表彰者(所属)	表彰対象・内容等	被表彰者(所属)	表彰対象・内容等
<b>《学芸賞(団体)》</b>		<b>《学芸賞(個人)》</b>	
[代表者]奥野 浩平(MA2)	日本建築学会近畿支部設計競技にて入選	清崎 博行(MK2)	[International Association of Colloid and Interface Scientists,Conference]にて英語による発表 [Chemistry Letters誌]に研究論文掲載
[代表者]松瀬 秀隆(MA2)	日本建築学会近畿支部設計競技にて「宅部会賞」と「木造部会賞」を受賞	//	//
[代表者]糸尾 良治(A4)	[第1回株式会社平成建設学生設計提案競技にて入選]	浜崎 青(MK2)	[International Association of Colloid and Interface Scientists,Conference]にて英語による発表
<b>《学芸賞(個人)》</b>		山口 智弘(MK2)	[International Conference "Catalysis in Organic Synthesis"]にて英語による発表
河合 大(MA2)	[15TH WORLD CONFERENCE ON EARTHQUAKE ENGINEERING]にて英語による発表	横山 雄一(MK2)	[International Association of Colloid and Interface Scientists,Conference]にて英語による発表
宗像 一樹(MA2)	[日本建築学会近畿支部設計競技]にて材料・施工部会賞、木造部会賞の二部門で受賞	乾 成樹(MK1)	[J.Mol.Catal.A:Chem.]に研究論文掲載
山田 直哉(MA1)	[一般社団法人団地再生支援協会とNPO団地再生研究会]より団地再生卒業設計賞を受賞	江口 洋介(MK1)	[9th International Gel Symposium —Gel Sympo2012—]にて英語による発表
谷口 由佳(MW1)	[日本デザイン学会 春季研究発表大会]にてグッドプレゼンテーション賞を受賞	岡田 衣理子(ML2)	[人間工学会関西支部大会]にて優秀発表賞を受賞
鏑 巧(MM2)	[Acoustic 2012 Hong Kong]にて英語による発表	高木 空(ML2)	[3rd TERMIS World Congress 2012]にて英語による発表
石原 光(MM2)	//	只 竜子(ML2)	//
茶木 雄太(MM2)	//	古林 久人(ML2)	[SICE ANNUAL CONFERENCE 2012]にて英語による発表
山敷 拓也(MM2)	[2012 International Conference on Frontiers of Mechanical Engineering and Materials Engineering]にて英語による発表	<b>《課外活動賞(団体)》</b>	
木村 祐太(MED2)	学術雑誌「材料」に研究論文掲載	[代表者]服部 莉加(W4)	福島県いわき市の仮設住宅で避難生活を送る方々に、ダンボールを用いた家具を製作し、寄贈した。
//	[The 2012 International Meeting for Future of Electron Devices,Kansai]にて英語による発表	<b>《課外活動賞(個人)》</b>	
西坂 和一(MED2)	//	羽柴 昂志(R3)	第21回Robo-Oneにてベスト8
森田 竜次(MED2)	//	小椋 翔平(R1)	ロボファイト13にてベスト8
高峰 健(MED2)	[IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems(ROS)]にて英語による発表	森東 剛也(R2)	ロボカップジュニア関西ブロック大会(レスキューチャレンジVerA)にて4位入賞、プレゼンテーション賞を受賞
辻川 孝輔(MED2)	[TEPE-PEMC 2012 ECCE Europe]にて英語による発表	大森 聡大(R3)	ビュートロボコン2012夏にて一般部3位入賞
伊賀 雄一(MED1)	//	末澤 佑一朗(L4)	第3回JSRC全国大会出場
小原 康寛(MED1)	[第56回電子イオン光ビーム技術とナノ加工国際会議]にて英語による発表		
村岡 宏樹(MED1)	[SPIE Laser Damage XLIV Annual Symposium]にて英語による発表		
山名 由憂喜(MED1)	//		

## 知的財産研究科長・学部長表彰(2012年度 第1回)

知的財産研究科・学部では、資格取得や本学主催行事等で特に優れた貢献をした者に対して、標記の表彰を授与するものであり、10月10日に実施しました。

知的財産研究科長・学部長表彰		知的財産研究科長・学部長表彰	
被表彰者(所属)	表彰内容	被表彰者(所属)	表彰内容
高橋 広純(MP1)	リサーチアシスタント(RA)活動において特に優れた貢献をした者	大塚 紫乃(P3)	キャンパスサポート制度(オープンキャンパス実施)において特に優れた貢献をした者
又川 大介(MP1)	//	三浦 良太(P3)	//
池田 百合(MP1)	//	寺井 暁(P2)	//
テイ キ(MP1)	//	市来 大輔(P3)	//
ホウ ヒン(MP1)	//	井戸家ゆかり(P3)	//
大倉 未来(MP2)	夏期集中講義においてパディとして特に優れた貢献をした者	藤木 玲奈(P3)	//
前田 大貴(MP2)	//	小西 さくら(P1)	//
三垣 光世(P4)	知的財産管理技能検定 2級合格	柏木 祐里(P1)	//
松本 卓也(P3)	//	藤井 郁弥(P1)	//
岡本 由希(P4)	リサーチアシスタント(RA)活動およびキャンパスサポート制度(高大連携支援)において特に優れた貢献をした者	早川 詩乃(P1)	//
田口 知憲(P2)	キャンパスサポート制度(高大連携支援およびオープンキャンパス実施)において特に優れた貢献をした者	菊田 玲華(P1)	//
木原 航平(P3)	//	杉田 佑未(P1)	//
西村 恭平(P3)	キャンパスサポート制度(高大連携支援)において特に優れた貢献をした者	太田 有香(P1)	//
浦部 由貴(P3)	//		

## 災害に備えて防災訓練を実施

10月18日、大阪市内で大地震が発生し、大宮キャンパス2号館から火災が発生したとの想定で、6号館学生食堂厨房の火災点検も含めた防火・防災訓練を、また、11月7日には、枚方キャンパスで大規模地震が発生し、それにより火災が発生したとの想定で防火・防災訓練が各キャンパスで実施されました。

教職員で組織する「自衛消防隊」を編成し、通報連絡、初期消火訓練、設備訓練、救出救護などが行われ、両キャンパス共に多くの学生・教職員が参加し、実際の災害発生環境を想定して実施したため、学生・教職員の防火・防災、救急救命に関する意識向上に大いに役立ちました。



救命講習での様子



防災訓練に参加した教職員

## 常翔ウェルフェア★ニュース 秋の食育フェアを開催

食育イベント、前回に引き続き第3弾「食育フェア」を10月4日に大宮キャンパスで、10月5日に枚方キャンパスで開催し、多くの学生に参加いただきました。

今回は、保健室・旭保健福祉センター・近畿農政局・大塚製薬・雪印メグミルクと協力して実施しました。「血管年齢測定」「1日に摂りたいカルシウムを食品でチェック」「豆はこびゲーム」「朝食バランスクイズ」「野菜の重量当てクイズ」「アルコールパッチテスト」「身体測定」「栄養相談」等々、笑顔あふれるイベントとなり、あっとい間の2時間でした。

「食」は基本です！不規則になりがちな大学生に、安全安心なウェルフェア食堂でバランスよく食べて健康を手に入れましょう。



血管年齢測定

カルシウム量チェック

豆はこびゲーム

## 第1回教職員対象 「トレーニングセミナー」を開催

11月27日、総合体育館トレーニングセンターにおいて第1回教職員対象「トレーニングセミナー」を開催しました。セミナーでは専属トレーナーから「正しいトレーニング方法やバランスの良い食事を摂取すること」などが重要であるとの説明を受けた後、クロストレーナーによる有酸素運動や筋トレ用機器などを体験しました。参加者からは「トレーニングを行う環境が整っているのが今後も利用したい。」との感想がありました。

トレーニングセンターでは専属トレーナーが各個人の目的にあった指導を行っており、体育系クラブの学生だけでなく、からだ作りや気分転換、ダイエットなどを目的に一般学生や教職員も利用することができます。ぜひトレーニングセンターを利用して、汗をかく気持ちよさを体験してください。



トレーナーから丁寧な指導を受けました

## 本学園OBから絵画の寄贈

本学園OBで画家である岡本敏夫氏(工大短期大学部S41卒業)から絵画の寄贈があり、11月28日、同氏に敬意を表して大宮キャンパス10号館エントランスで感謝状贈呈式を行いました。

寄贈された絵画は縦162.1センチ、横130.3センチの大きなキャンパスに雪化粧の妙高山(新潟県)が画かれています。同氏は日本の四季に彩られた山や海の風景画を数多く手掛けられており、有珠山(北海道)や石廊崎(静岡県)などの風景も描かれています。絵画は10号館エントランスホールの壁柱に設置されていますので、皆さん一度、真近かで見てみてください。



エントランスホールに飾られた岡本氏の作品

## フジキン株式会社寄贈 「富士さくら」植樹祭

11月15日、株式会社フジキン様から同社創業80周年に当たり、創立90周年を迎えた本学園への謝恩と環境整備の一助として「富士さくら」を寄贈いただき、大宮キャンパスChast(チャスト)エントランスにて記念植樹祭を行いました。植樹祭には本学園OBでフジキンカーブグループ取締役副会長兼フジキンソフト株式会社代表取締役社長の赤松直樹氏(1968年卒)、株式会社フジキン代表取締役社長の野島新也氏(1976年卒)のほか、同社で勤務する本学園OBや関係者、また、本学からは井上学長をはじめ教職員、学生が列席しました。井上学長からは「この『富士さくら』の成長とともに学生たちが世界の一員としてグローバルな社会で活躍していくことを願っています」と謝辞が述べられました。



植樹祭の様子

## 工大流就職支援

現3年生、大学院1年生向けの各就職支援セミナー、業界企業研究会等の行事がピークを迎えている。今年度も12月1日に企業の採用広報活動が解禁され、各就職サイトへのエントリー、各企業の単独の説明会等が始まった。本学においても、12月3日(月)から12月18日(火)まで、業界を代表する企業が連日数社来訪し、業界企業研究会を実施している。これに先立ち、大手5社の人事採用担当者に、これから始まる就職活動の心構えについて語っていただくセミナーを実施した。各担

当者が口をそろえて語ったことは「この時期に今一度自分を振り返ること、本当にこの業界に、この企業に、自分のやりたいことあるか再度考えよう。」ということであった。学生には周りの学生や就職サイトの情報に流されずに、地に足をつけた就職活動を展開してもらいたい。ひとりでも多くの学生が自分自身とベストマッチした仕事探しができるよう、工大流就職支援の核である「Face to Face」の学生と就職担当者との真剣勝負の支援がいよいよ始まる。

## 就職 NEWS Vol.08